

施策4	良質で多様な保育サービスの充実	主管部長(課)	こども未来部長(保育政策課)
		関係部長(課)	こども未来部長(保育支援課)

1 施策目標

江東区の目指す姿

保育施設が適切に整備されているとともに、良質で多様な保育サービスが安定的に提供され、安心してこどもを産み、育てることができています。

施策実現に関する指標(代表指標)

指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
保育所待機児童数	人	51	14	4	0	0	0	0	保育政策課

指標選定理由 保育施設の整備状況、保育サービスの充実を測る指標であるため

分析	達成度	5 (達成)	◆6年度の待機児童数は、民間活力を活用した認可保育園の新規開設や、地域や年齢によって異なる保育需要に応じた既存施設の定員変更、居宅訪問型保育事業等の多様な保育サービスの継続実施により、前年度に引き続き0人となった。						

施策コストの状況

種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算
トータルコスト	42,299,698千円	36,967,023千円	44,716,330千円	47,013,035千円
事業費	36,323,900千円	31,754,750千円	38,230,087千円	40,727,487千円
人件費	5,975,798千円	5,212,273千円	6,486,243千円	6,285,548千円

《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)

◆令和5年6月13日に閣議決定された「こども未来戦略方針」において、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付「こども誰でも通園制度(仮称)」を創設することが示された。6年度からは本制度の本格実施を見据えた形でモデル事業を実施するとともに、検討会にて議論が進んでいる。

◆保育所等を利用していない未就園児を定期的に預かり、こどもの健やかな成長を図るとともに、育児不安解消等、子育て支援の充実を図る「多様な他者との関わりの機会の創出事業」が都より令和5年3月30日に示され、事業を開始している。

◆令和6年3月13日公布の内閣府令により、同年4月1日から保育所における保育士の配置基準が改善され、3歳児は20対1から15対1に、4・5歳児は30対1から25対1になった。国は今後、1歳児についても保育士の配置基準を改善することとしている。

2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

取組方針1		待機児童の解消
主な取組	待機児童ゼロ継続に向けた保育定員の適切な確保	
取組内容	◆5年度は、民間活力の活用により認可保育所1か所を新規整備したほか、地域や年齢によって異なる保育需要に応じた既存施設の定員変更を行った結果、合計で61名の定員増を図り、前年度に引き続き待機児童ゼロを継続した。今後は、各園定員の空き状況等も注視しつつ適切な定員確保に取り組みながら、待機児童ゼロの継続に取り組んでいく。	
主な実施事業	私立保育所整備事業	
取組方針2		良質かつ多様な保育サービスの提供
主な取組	保育所に対する指導検査の専門性の向上及び保育人材の確保	
取組内容	◆保育所に対する効率的かつ効果的な指導検査を実施するため、検査項目の一部を税理士等の専門家に委託し、検査の専門性の向上を図っている。 ◆保育人材の確保のため、処遇の改善につながる補助をはじめ、宿舍借上補助、就職相談会及び法人採用担当者向け採用活動等支援セミナーなど、様々な支援を行っている。また、5年度に開始した職員の定着支援に向けた取り組みに加え、6年度は人材確保に係る経費の補助を試行的に実施する。さらに、休日保育及び病児・病後児保育など、保護者の多様な就労形態、家庭環境やライフスタイル等に応じた保育サービスを提供している。	
主な実施事業	保育の質の向上事業、保育従事者確保支援事業、病児・病後児保育事業、私立保育所補助事業	

3 取組方針の実施状況

取組方針1	待機児童の解消	主管部長(課)		こども未来部長(保育政策課)						
		関係部長(課)		こども未来部長(保育支援課)						
地域やこどもの年齢によって異なる保育需要に応じて、公有地の活用や大規模開発との連携など、多様な整備手法を用いて認可保育所等の整備を進めます。また、区立幼稚園での3歳児保育や預かり保育、居宅訪問型保育事業をはじめとする様々な手法を用い、保育の受け皿を確保します。さらに、保育サービスの情報提供や窓口相談等を行う保育園ナビゲーターの活用により、保護者のニーズに応じた情報提供を行い、待機児童の解消を目指します。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
保育所待機児童数(再掲)		人	51	0	4	0	0	0	0	保育政策課
指標選定理由		(代表指標に記載)								
分析	達成度	(代表指標に記載)								
	代表指標に記載									
取組コストの状況										
種別		5年度予算		5年度決算		6年度予算		7年度予算		
トータルコスト		566,371千円		190,839千円		26,520千円		14,018千円		
事業費		554,564千円		180,485千円		16,819千円		0千円		
人件費		11,807千円		10,354千円		9,701千円		14,018千円		
成果と課題										
◆令和6年4月時点では、民間活力の活用により認可保育所1か所を新規整備するなど、61人の認可保育定員の増を図り、前年度に引き続き待機児童ゼロとなった。今後も、待機児童ゼロを継続していくため、「江東区こども・子育て会議」の意見を踏まえながら、適切な保育需要への対応を検討するとともに、居宅訪問型保育事業等の多様な保育サービスを継続実施する。 ◆保育園ナビゲーターによる入園申込方法の相談や保育園に関する情報提供を実施し、保護者のニーズに応じたサービスの提供を行っている。 ◆地域や年齢によっては空き定員が生じていることから、保育定員の見直しや空きスペースを活用した一時預かりサービスの拡充を検討していく必要がある。										

取組方針2	良質かつ多様な保育サービスの提供	主管部長(課)		こども未来部長(保育支援課)						
		関係部長(課)		こども未来部長(保育政策課)						
保護者が安心してこどもを預けることができるよう、都との連携の下、区内保育施設の指導検査を推進するとともに、施設改修等による保育環境の改善を行います。また、保育人材の確保のため、処遇の改善につながる補助をはじめ、宿舍借上補助、就職相談会及び法人採用担当者向け採用活動等支援セミナー等、保育事業者の意向を聞きながら様々な支援に取り組みます。さらに、休日保育及び病児・病後児保育など、保護者の多様な就労形態、家庭環境やライフスタイル等に応じた柔軟な保育サービスを提供します。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
保育所に対する指導検査実施完了割合		%	100 (30年度)	100	100	100	100		100	保育支援課
指標選定理由		保育の質の維持・向上に資する活動量を示す指標であるため								
分析	達成度	◆保育所に対する指導検査は、施設数が増加傾向にある中、毎年度着実に実施している。								
	5 (達成)									
取組コストの状況										
種別		5年度予算		5年度決算		6年度予算		7年度予算		
トータルコスト		41,733,327千円		36,776,184千円		44,689,810千円		46,999,017千円		
事業費		35,769,336千円		31,574,265千円		38,213,268千円		40,727,487千円		
人件費		5,963,991千円		5,201,919千円		6,476,542千円		6,271,530千円		
成果と課題										
◆区の取り組みは、順調に推移している。今後は、全ての対象施設への検査を継続しつつ、検査の専門性の向上により検査の精度の向上を図るほか、提供する保育サービスの充実を図るなどして、保育の質の向上を図っていく必要がある。 ◆AIシステムによる入所選考の実施について、3年度より本格運用を行い、令和6年4月入所についても、それぞれ保育所利用調整結果発表の早期化を実現しており、今後も、例月の入所調整等の機会を活用するなど、引き続き区民の利便性向上を図っていく。 ◆保育士不足の状況が続いており、引き続き人材確保支援に努める。 ◆病児・病後児保育室については、3か所で運営しているが、6年度に新規2か所の開設へ向けて取り組む。										

4 一次評価《主管部長による評価》

総評	◆区の取り組みは着実に推移している。今後も待機児童ゼロを継続していくために保育需要への適切な対応を検討するとともに、保育の質の向上、保育サービスの充実に係る取り組みを継続する。
今後の方向性	◆「江東区長期計画」及び現在策定中の「江東区こども計画」に基づき、地域ごとの需要に応じた適切な定員確保と保育の質の向上に取り組むとともに、待機児童ゼロを継続していくための適切な保育需要への対応を検討していく。 ◆適正な運営及びサービスの質の確保をするため、検査の対象となる全ての保育施設に対して年1回の指導検査を適切に実施する。 ◆区民の多様なニーズへの対応や指導方法の研究を推進し、保育の質の向上につなげていく。

5 二次評価《区の最終評価》 ※3年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

総評	◆指標については目標を達成し、施策の進捗状況は順調であると言える。 ◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現に向け、下記について着実に取り組む必要がある。
実現に向けた取り組み	◆今後も待機児童ゼロを継続していくため、地域ごとの保育需要の分析を行い適切な定員枠を確保するとともに、「保育の質の向上」に取り組んでいく。 ◆各園における空き定員の状況等を踏まえながら、空きスペースの有効活用を検討していく。 ◆保育サービスに係る事務等の更なるDX化を進め、区民サービスの向上とともに、保育従事者の負担軽減を図る。 ◆保育の質の確保のため、指導検査を着実に実施していくとともに、保育従事者の確保や技能向上に向けた取り組みについて引き続き実施していく。